

令和3年度共通テスト志願者数

志願者数は対前年▲4.0%の535,244人
2年連続の減少。既卒者が大幅減少。

進路情報研究センター ライセンスアカデミー/教材開発課

大学入試センターは10月15日に、令和3年1月16日・17日、30日・31日に実施される大学入学共通テストの志願者数を発表した。志願状況は以下の通り。

※()内は前年の確定志願者数

| | |
|------------------|-------------------------|
| 志願者数 | 535,244人 (557,699人) |
| | 〈対前年増減 ▲22,455人、▲4.0%〉 |
| 【内訳】 | |
| ・高等学校等卒業見込者（現役生） | 449,789人 (452,235人) |
| [高等学校等経由出願] | 〈対前年増減 ▲2,446人、▲0.5%〉 |
| ・高等学校等卒業者（既卒者） | 85,455人 (105,464人) |
| [個人直接出願] | 〈対前年増減 ▲20,009人、▲19.0%〉 |

【受付処理が終了している人数に見る日程別志願者数】

処理済人数 531,907人

- ・令和3年1月16・17日 531,118人（処理済人数に占める割合は99.9%）
- ・令和3年1月30日・31日 789人（処理済人数に占める割合は0.1%）

大学新聞社では、高校卒業者数が約2万人減少の102.2万人と推測している。そのような状況下で現役生は約2千5百人の減少にとどまっている。これは、新型コロナウイルスの影響を受け、直接試験会場で受験しなくてもよい「共通テスト利用選抜」を考慮しての志願も要因の一つでしょう。そのため、共通テストの現役志願率は前年の43.3%よりも上昇するだろう。

大きく志願者数が減少したのは既卒者である。前年は、新テスト実施を前に“後がない入試”ということで不本意ながらも難易を下げた大学に合格、入学した人がいたためであろう。

試験日程別では、「99.9対0.1」の割合で、予想に反して1月30日・31日の志願者が789人しかいなかった。これは、私立大受験や国立大の2次対策を考えてのことだろう。

前年の志願者数は対前年1万9千人、本年は2万2千人の減少と2年連続で大幅な落ち込みになっている。令和3年度選抜は、既卒者の大幅な減少や受験生の安全志向から、マクロ的には難関大を中心に易化するだろう。